

## そろそろ脳の検査をしてみませんか？

脳神経外科外来には、頭痛、めまい・ふらつき、物忘れ、手足の痛み・しびれといった症状を訴えて多くの人が受診されております。

しかし、症状がなくても脳に恐ろしい病気があることも少なくありません。その代表が『脳動脈瘤』です。脳動脈瘤があっても症状がないことがほとんどですが、突然破裂して『くも膜下出血』を起こす危険性があります。一旦くも膜下出血を起こすと約3割の人が死亡するとされ、例え命が助かって後遺症を残すことも少なくありません。

昔は、脳動脈瘤の診断には脳血管撮影が必要でしたが、現在では『MRI検査』により非侵襲的に診断することができます。もし脳動脈瘤が破裂する前に発見できれば、破裂を防ぐ治療をすることができるわけです。

『脳ドック』は脳動脈瘤をはじめとした脳の病気を、症状が出る前に診断するために広く行われるようになってきています。当院でも新築移転時に1.5テスラの高磁場MRIを導入し、予防医療の一環として『脳ドック』を行っています。検査は30分程度で苦痛もありませんので、ぜひご利用ください。

脳神経外科医 佐藤 一史